

【スライムキヤット】

「や、やだああー!! は、放せよおお〜!!!」

「あは♡ おちんちんかちかちにしてて説得力ないにや〜♡
ほらあゝ、気持ち良いにやゝ♡ 坊やを溶かしちゃう前に
気持ち良くしてあげるから感謝してにやゝ♡」

街の下水に軽い気持ちで探検していた男の子は、
そこでキヤットスライムに捕まってしまいました





「んふ♡ おちんちんびくびくしてきたにや♡
ほらほら、お姉さんの中に漏らせ漏らせにや♡」
「や、やめてええー！ お、おちんちんむずむずして…、
お、おしっこ漏れちゃううゝゝ あつ♡」
キヤットスライムは下水に住み着く鼠目当てにやって来た猫を
取り込んだスライムが変化したモンスター娘です。
猫の獲物をいたぶって楽しむ性質を受け継いでいます

「おっ♡ おごおおおっ♡」

「あはは♡ 変な声にやっ♪
お姉さんの中にお漏らしは気持ち良いかにやっ♡」

スライムキャットは捕まえた男の子をすぐには食べません。
尻尾に模した触手で男の子を固定し、
その膣で男の子のおちんちんをいたぶります



「ああああああー♡ らめええええ♡
お尻ふるの、やめてえええー♡」

「おー♡ おー♡ どんどん漏らしているにやー」
ほれほれこのまま天国に逝かせてやるにやー♡」

男の子は初めてがこんな下水に住むモンスターという
惨めさを感じながらも、吐精を止める事が出来ません。
性行為そのものが初めてなので我慢するという事が出来ないのです



「ん！ん！」

「んふふ♡このまま溶かしてやるにや♡
お漏らししながら死ぬがいいにや♡」

スライムキャットは男の子を捕らえていた尻尾を肥大化させて、そのまま取り込んでしまいました



[illegible]

「うーわー♥ おちんちんからも噴き出してきたにや〜♥
おちんちんからぴゅぴゅぴゅ♥
最後まで気持ち良く逝けて良かったにや〜♥」

そして男の子はそのまま溶かされてしまいました。
繋がったまま溶かされてしまったので、
ところどころになった男の子はそのままスライムキャットの
おまんこにも気持ち良〜く吞まれてしまいましたとさ

END



【らぶちゅう】

「あゝあ♡ おじさんのおちんぼ私の虫マンコに入っちゃった♡
キスしてこんなにカチカチにしちやったの？ 変態さんだね♡」
「んふ♡」

ある森を散策していたおじさんは『らぶちゅう』という
肉食系モンスターの襲われてしまいました。
がつちり両手の鎌に捕捉されたおじさんは逃げられません





「ほらほら♡ そのまま出して良いんだよ♡
ぴゅっぴゅっとお漏らしして良いんだよ♡
漏らしちゃったなら、赤ちゃん出来ちゃうんだけどね♡」
「んんん♡」

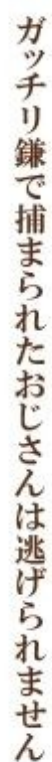
『らぶちゅう』はカマキリのモンスターです。
足に見えるは実は両手の鎌で、女性器は口です。
口から分泌されている興奮剤と、クンニプレイを誤認させて、
その気にさせた男性と強制子作りしてしまうのです

「んっ♡」

「あ♡ 出たあ♡ やあゝん♡
虫おまんこに本当に射精しちゃっているよおゝ♡
虫と子作りしちゃうなんて変態さんだあゝ♡」

このおじさんも例に漏れず、クンニプレイを誤認されて、
怒張したチンポを虫マンコで搾られて漏らしてしまいました





「ね♥ね♥ おじさん♥ おじさんこのまま私の番になっちゃお♥
虫マンコに射精しちゃう変態さんなんだから、普通の女の人じゃあ
結婚できないよ? だから私とずっと一緒にいよ♥
ほらあゝ♥ もつとキスしてえゝ♥ 大人のべろちゅゝしてえゝ♥
キスしながら搾つてあげるからあゝ♥」

「んんんゝ♥」



「あは♡ すごい出てるう♡ おじさんも私のこと好きなんだあ♡
私もおじさんのこと好きだよ♡
じゃあしばらくは私とこのままキスハメだね♡」
「んん♡」

『らぶちゅう』は惚れっぽいモンスターです。
性交した男性をそのまま番にして、ずっつとキスハメし続けてしまう為。
らぶ(愛)ちゅう(キス)と呼ばれるのです

【5時間後】

「あは♡ 流石にあまり出なくなっちゃったね♡ でも大丈夫だよ
おじさんが漏らしたおちんぽ汁は、
ちやうんと子宮で全部飲んでるからね♡
零したりしないから、ちやんと孕んであげるからねえ♡」

「ん…♡ ん…♡」

『らぶちゅう』はカマキリのモンスターです。
カマキリの雌は交尾した後の雄をどうするか…





「あ♥ まだ出たあ♥ 偉い偉い♥ えへへ♥
私おじさんのこと好きだからちゅんちゅんと孕んであげるからねえ♥
ちゅんと孕んであげるから...
搾り尽して死んだら食べてあげるからねえ♥
私たちの赤ちゅんの栄養にしてあげるう♥」
「ん...♥...♥...」

そう雌が赤ちゅんを作る栄養として雄を食べてしまうのです。

こうしておじさんは、この後数時間にわたって
『らぶちゅう』に搾られ続けられ、精根尽きて死んだあと、
そのまま食べられてしまいました

END

【落下大蛇】

「あ♡ あ♡ す、すごい♡ これすごいよおお♡ あひいいい♡」
「…♡」

森に遊びに来ていた男の子は、木から垂れる赤い女の人に捕まり、そのまま犯されてしまいました



「おっ♡ おおおおおっ♡」

「っ♡」

赤い女の人 はぬるぬるで、へその下にある穴で男の子のおちんちんを
咥えるとき、ぐねぐね、ぐちゅぐちゅ抜いてきて、
男の子はあまりの気持ち良さにあつという間にお漏らししてしまいます





男の子が止めると叫んでも、
赤い女はかまわず男の子のおちんちんを穴で扱き続けます。
赤い女は男の子のおちんちんほミルクがとっても気に入ったようです

「ら、めえええ♡ おちんちんいじやっちゃ、めえええ♡
びくんびくんしゅこいのおお♡ おもらしとまらにやいい♡」
「っ♡っ♡っ♡」

どずんっ!!

「うわっ!」

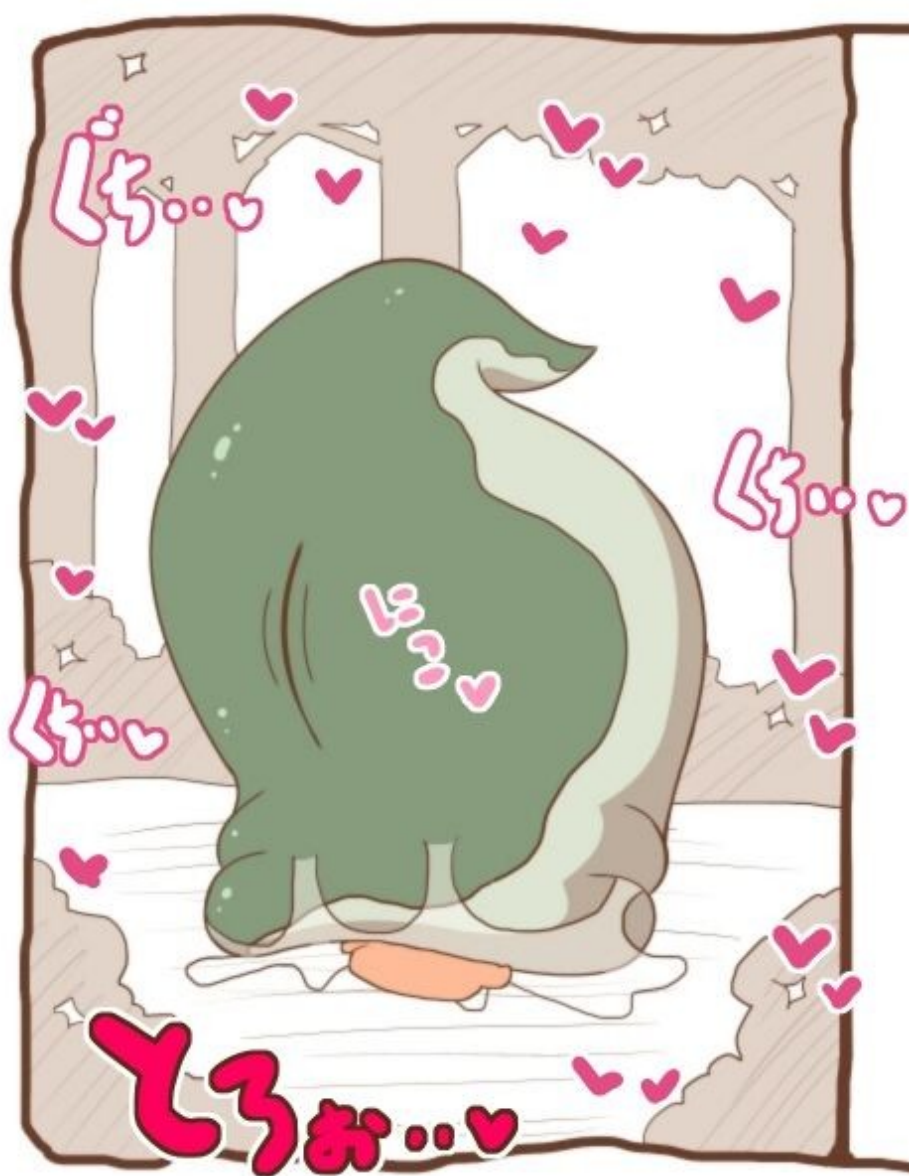
そうこうしている内に、赤い女の本体が木の上から降ってきて、そのまま男の子を食べてしまいました



「あ、あぎやあああああああ
あああああああああー♡」

その本体の名前は『落下大蛇』、赤い女はその『落下大蛇』の舌です。
舌で獲物を捕らえ、舌で獲物の精子を搾り、
その精子からその健康状態を確認してから捕食するという
蛇のモンスターです





捕食された獲物は瞬く間に溶かされてしまうのです。
美味しい男の子を食べられたので『落下大蛇』も
とても嬉しそうな顔をしています

「
」

「
」

【2時間後】

「ふああああ♡ らめえええ♡
おちんちんくちゅくちゅ、らめええ♡」

「…」

しばらくしてから別の男の子が森の中に入ってきました。
どうやら最初に食べた男の子の弟のようで、
なかなか帰って来ない兄を心配して探しに来たようです



「お…、おうんん♡ す、すごい♡」

「っ♡」

兄妹だからか、その男の子の精子の味も美味しくて、『落下大蛇』はすぐに気に入りました。
『落下大蛇』はとても優しいです。
その男の子をぬきぬきして気持ち良しく搾ったあと、探していた兄を腹の中で会わせてあげようと決めました

E
N
D

